

世羅郡酪農振興協議会

一月十七日 林正文牧場

キヤリロボ・自動給餌機
省力化機器導入牧場視察

世羅郡酪農振興協議会(会長 内海利彦)は林牧場(庄原市小用町)で視察研修を行い、他地域からの参加を含め総勢七名が参加された。

林牧場は、十年前にキヤリロボを導入され、昨年は畜産クラスター事業を活用しTMRと配合飼料の自動給餌器を導入。搾乳牛四十頭を二・五人で管理されている。また、経営主の林正文さん(写真前列左から三人目)は哺乳管理もされており、省力化の工夫に対して、参加者の関心が寄せられた。



参加の溝上敬一さんからは、「今後省力化を進めるうえで、雇用するかどうかの判断材料として参考になった。自分の経営にも取り入れていきたい」と感想が述べられた。

甲奴郡酪農組合

一月二十三日 東部事業所

新組合長・道田稔弘氏
『乳質向上』 全組合員で努力



(挨拶に立つ溝辺組合長)

甲奴郡酪農組合(組合長 溝辺清春)は、平成二十八年度通常総会を開催した。組合員十七名のうち実出席は十三名、委任状一名の出席から総会は有効成立し、役員改選を含む提出議案全てを可決承認した。

開会にあたり、溝辺組合長からは「乳質の良い生乳を多く出荷して行きましょう」と挨拶され、続いて、来賓として出席した岩竹重城組合長(広酪)からは、①畜安法改定に伴う生乳受託販売契約の選択を広酪と契約

して戴いた御礼、②二月一日から西部事業所及び久井倉庫を廃止し、東部倉庫と高宮ミルクボーイの二か所の倉庫をそれぞれ週三日開所し運営すること、③北海道初妊牛価格は約百万円と高値が続く中で、育成牛が不足しているために若齢預託牧場を作るための実行委員会を立ち上げ検討していること、④広酪飼料「TMR20」の畜産技術センターの試験では、乳成分値の安定、乳量3kgアップ、繁殖率向上につながる良い餌との評価等に触れて祝辞を述べた。

また、乳質向上に全員で努力する方針を確認し、乳成分値・体細胞数・生菌数の全てのペナルティが年間通して五回以内の七名、若しくは前年度のペナルティ回数二分の一以内に半減した四名、乳量が昨年より増産した六名の十七名を表彰された。

総会終了後は、山陽乳業(株)の中山篤志顧問による乾杯発声から、ご家族も参加され、終始和やかな年初めの会で懇親を深められた。

通常総会で決定した七名の新役員体制においては、二月五日に役員会が開催され、組合長に道田稔弘氏、副組合長に山本雅陳氏が選任された。

広酪ホルスタイン

一月二十四日 かんほの郷庄原

平成29年度通常総会
役員改選 新代表に和田慎吾氏

広酪ホルスタイン改良同志会三次支部(会長 渡部英彦)は、平成29年度通常総会を開催し会員八名が出席された。

協議事項は「平成29年度事業報告並びに収支実績報告」、「平成30年度の事業計画並びに収支予算案」、「役員改選」の3議案を上程され、

全議案可決承認された。

新役員には、代表に和田慎吾(庄原市東城町)氏、監事には檜高侑祐(三次市布野町)氏が就任された。

総会終了後は、日頃の飼養管理の苦労や乳牛改良を話題として、和やかに交流された。

甲奴郡酪農女性部

二月一日 府中市ふるさと産物センター

懐かしのフォークソングを聴き 楽しい食事で団らん



の交流会や三月二十日開催のひろく女性グループ連絡協議会の講演会・交流会への参加を求めた。会場では、学校の外部講師もされている小川さんによるギター演奏を聴き、ゆったりとした空間のなか和やかに過ごされた。

閉会では、茨木美津子副部長から「皆さん、女性グループの講演会・交流会には是非に一緒に出席しましょう。そして元気を沢山貰いましょう」との言葉でしめくくられた。寒い中での開催だったが、久しぶりの再会に話が弾み、次回は四月四日開催の総会での再開を約束し閉会した。

甲奴郡酪農女性部(部長陰地光枝)は会員十一名が参加して年始会を行い、広酪からは経営支援課の上富士課長補佐と湯浅典子職員が参加した。開会にあたり、会計の松本美喜枝さんから「皆さん今年も元気で過ごしましょう。また、今日はしっかりと食べて話して、日頃の疲れを癒やしましょう」と挨拶。



(フォークギターを奏でる小川さん。上下中学校嘱託教員として活躍される傍らで毎週木曜日には同センターで演奏されている)

庄原地域酪農振興会

一月三十日 庄原市「比婆観光」

戦後の市内酪農家三百戸 酪農地帯も戸数減！若者に期待！



庄原地域酪農振興会会長 赤木 靖は、新年会を開催し、会員及び庄原市を含め二十名の参加があった。広酪からは、岩竹重城組合長のほか、藏崎哲治課長補佐(生産振興課)が参加した。

開会にあたり、赤木会長から「今年一年、人も牛も元気で頑張りました」と挨拶され、来賓の岩竹組合長からは、畜安法の改正をはじめ、広酪の二月一日付の組織機構再編や飼料情勢等に触れて酪農情勢を説明し、皆さんには「戸数が減少しても乳量が下がらないように頑張ってください」と挨拶した。

続いて、庄原市農業振興課担当職員から、同市の畜産農家がクラスター事業(施設整備)に参加できるよう庄原市酪農連絡協議会の規約改定の手続きとして二月六日に総会を開催するとして当日多数の出席を求められた。

乾杯発声に指名された藤岡辰彦氏は「戦後、旧庄原市内には約三百戸の酪農家があったが、今は水田転作等により土地を購入して開拓をしていたが、今は水田転作等により牧草地を開墾・開拓しなくても良い時代であり、自給粗飼料を栽培する環境は良い状況にあるといえる。旧庄原市も酪農家が十五戸と大きく減少したが、後継者がいる家が多いことがうれしい」と若者にエールを送り、懇親会では、終始和やかな雰囲気で見交わがなされた。

なお、同振興会では三月に搾乳ロボットを導入した酪農家への視察研修を計画されている。

ほほえみ会

一月三十一日 三次市内「さざん亭」

総会開催 新会長に橋本加代美さん ピザづくり等活動報告

ほほえみ会(会長 温泉川みどり)は、平成二十九年の総会を開催し、会員八名のほか、広酪から竹ノ内寛治課長補佐(経営支援課)が出席した。

総会議案では、平成二十九年事業報告並びに決算報告、役員改選議案が上程され、いずれも承認された。このうち役員改選議案では、会長に橋本加代美さんが選任された。

活動報告では、ピザづくりが非常に楽しく、更に食材などは自分たちで揃えた事で費用が抑えられたことなどを挙げて、良い企画であったと報告された。

今年度の研修旅行先を話し合ったものの、今まで行った場所を思い出し、楽しい思い出話に花が咲き、なかなか旅行先は決まらず、笑いの絶えない懇親の場となった。

閉会にあたっては、橋本会長から「皆さんのお力添えをお願いし、良い会となるようにしたので支えて頂きたい」と締めくくられた。

竹ノ内課長補佐からは「ひろく女性グループ連絡協議会」の講演会・交流会の開催と参加をお願いした。